

エアコンの設置の拡充

資料No.5

- 吉田町では、平成29年に、全小・中学校の普通教室、特別教室へのエアコンの設置を完了した。このことにより、夏の暑さや冬の寒さといった気候に左右されずに、教室が快適に使用することが可能となり、児童生徒の安全や集中力確保という側面から効果を得ている。
- 他方、車座対話を受け、要望のあったその他の場所への空調設備の整備について、昨今の夏の猛暑への対応を一層充実する観点から空調設備を整えてまいりたい。

①体育館

→夏場の体育の授業や、学校行事に対応するためには、空調設備が不可欠。

学校の体育館は、被災時、避難所にもなるため、防災の観点からも空調設備は重要。

②放送室、教科準備室

→放送や、理科準備室や美術準備室などは、毎日、児童生徒や教員が使用する場所であり、空調設備は重要。

また、放送機材や理科備品などの劣化や故障を最小限にするためにも、空調設備は必要。

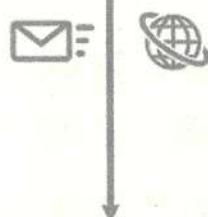
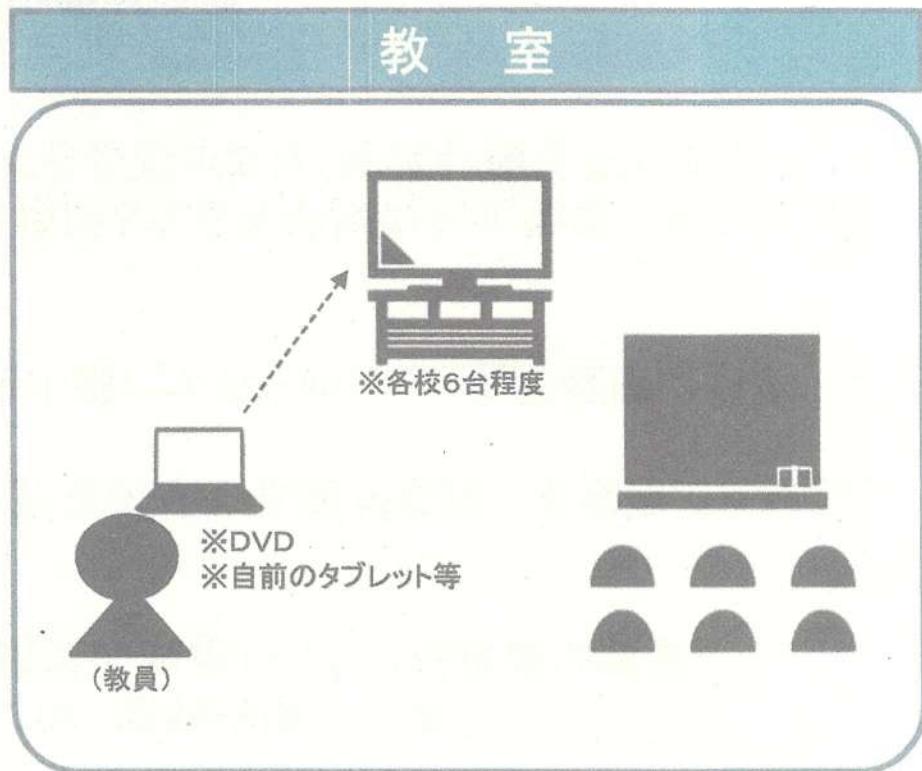
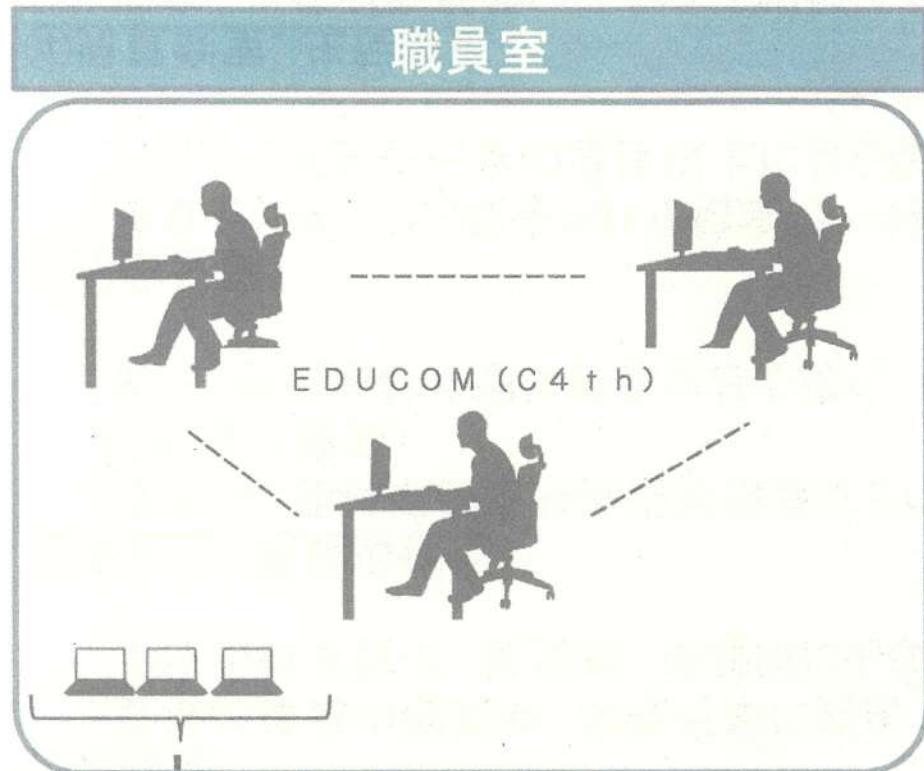
③給食受室

→給食センターから配送された給食の一時的な保管場所となる各学校の給食受室であるが、衛生面から部屋を一定の温度以上にならないようにする必要があり、空調設備は不可欠。

④児童会室、生徒会室

→児童、生徒が定期的に活動する場所であり、空調設備が必要。

ICT環境の充実（現状）



【職員室】

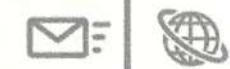
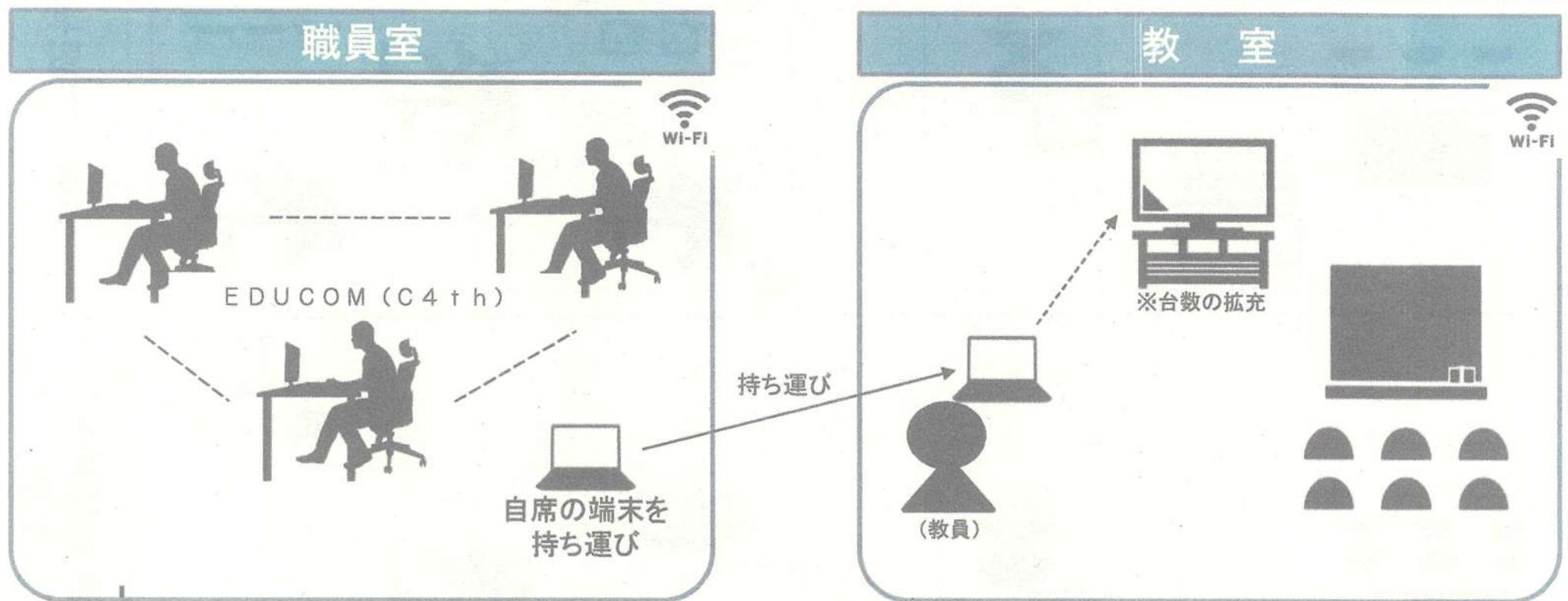
- ①教員間は校務システムでつながっているため、フォルダやファイルの共有ができるが、セキュリティの問題から外部からは遮断されている。
- ②インターネットを活用したり、外部とメールのやりとりをする場合には、各学校2~3台ある外部接続用の端末を利用する。

【教室】

- ①教材提示用の大型テレビは、現在各学校4~6台程度の配置状況で、使用したい時に使用できない場合もある。
- ②教室はインターネットを使用できる環境がないため、教材提示用の大型テレビは、DVDプレーヤーや自前のタブレット等を使用しての活用となっている。

ICT環境の充実①

- 車座対話を踏まえれば、現時点における、教職員の考える理想の職員室及び教室空間は以下のとおりと考えられる。



自席の端末から

【職員室】

- ①授業準備をより充実させるとともに、その時間短縮のため、自席の端末からインターネットにアクセスできる環境。(職員室のWI-FIの整備を含む)



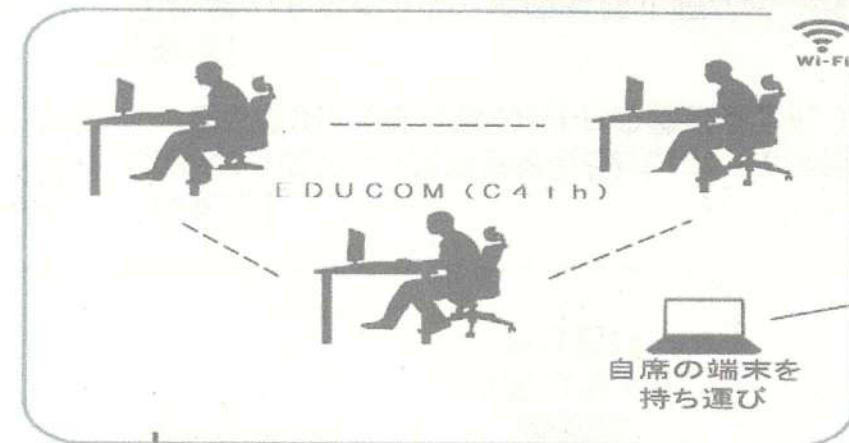
【教室】

- ①授業の充実のため、動画や静止画など、よりよい教材を児童生徒に提示することができるよう、教材提示が大画面でできる機材の整備。(教材提示用セットの配備の拡充)
- ②授業の充実のため、教員や児童生徒が教室でインターネットにアクセスできる環境の整備。(教室のWI-FI)

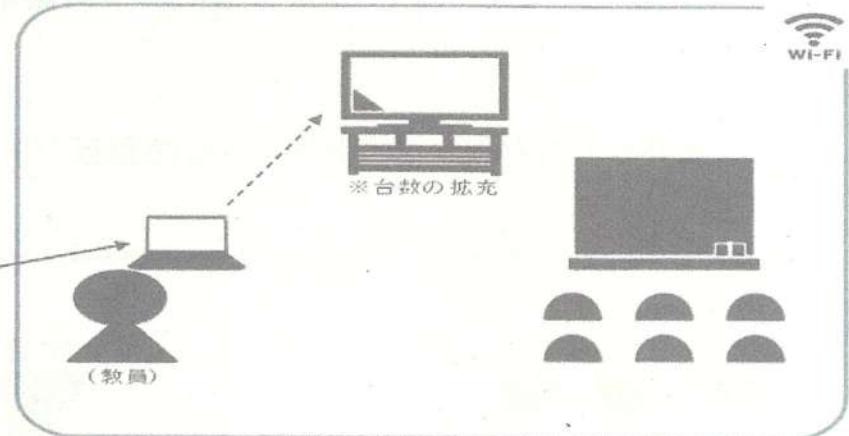
ICT環境の充実②

先生の要望を踏まえた目指す状態

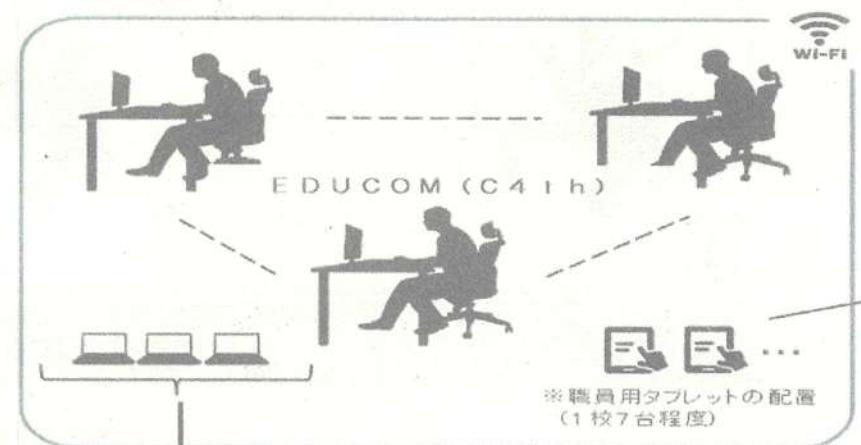
職員室



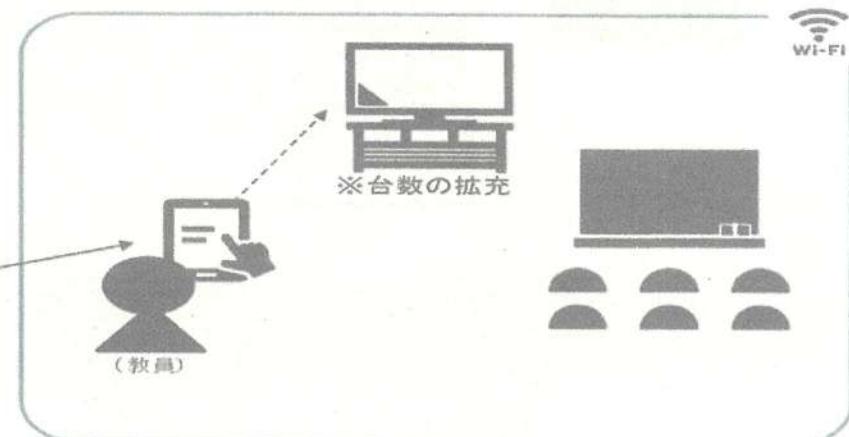
教室



自席の端末から
↓



自席から接続
↓



当面の目指す状況

【職員室】自席のパソコンは、児童生徒名簿や成績などを管理するEDU COMが入っており、自席のパソコンを外部に持ち出したり、メールができるようにしたりすることは、セキュリティ上の課題が大きく、その必要性や代替可能性を考え慎重な対応をしたい。